



森田医院通信

Vol.4

2016年5月10日

糖尿病が増えています！

糖尿病という病名は多くの方が耳にされたことがあると思います。インスリンというホルモンの不足により、血糖値が高い状態が続き、動脈硬化から脳梗塞や心筋梗塞を起こしたり、失明や人工透析の原因となります。

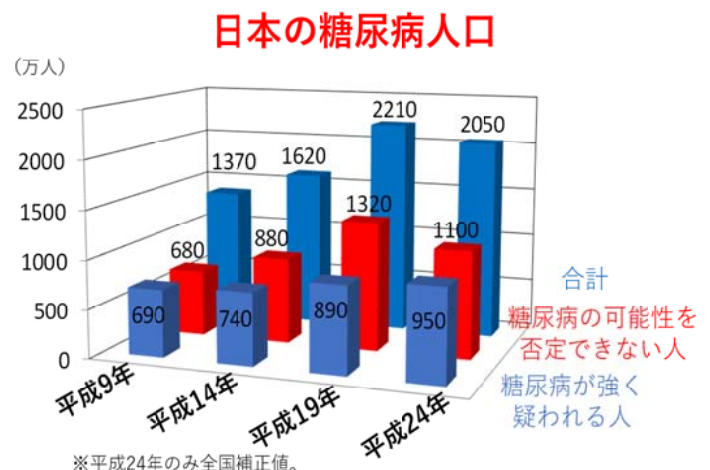
近年糖尿病の患者さんの増加が問題となっていますが、この傾向は日本だけではありません。世界保健機関（WHO）が関与した研究では、世界の成人糖尿病人口は1980年から2014年にかけて4倍に増加したとのことです。

世界の成人糖尿病人口4億2,200万人

報告では、世界の糖尿病の患者さんの割合は、1980年には男性4.3%・女性5.0%ですが、2014年には男性9.0%・女性7.9%に上昇。世界全体の成人糖尿病人口は、1980年には1億800万人でしたが、2014年には4億2,200万人に増加。今回の研究で糖尿病有病率が低下した国は無かったそうです。

日本でも糖尿病人口は平成24年の報告で、“糖尿病が強く疑われる人”の数は増加傾向が続いています。

糖尿病の発症は食事や運動により予防や遅延が可能です。ライフスタイルの乱れに気を付け気になる方は早めに検査を受けるようにしましょう。現在糖尿病と診断されている方も良好なコントロールを目指し合併症を起こさないよう気を付けましょう。



一言コラム

離婚で脳卒中の危険が増加！！

離婚により脳卒中の危険が1.26倍増加することが、国立がん研究センターなどの研究で報告されました。特に脳出血に強い関係が見られるそうです。



生活環境の影響も報告されており、「離婚せず子供と別居」に対して「離婚して子供と同居」になると男女ともに脳卒中の危険が高くなったそうです。また「離婚せず親と非同居」に対して「離婚して親と同居」すると、女性のみ脳卒中の危険が高くなり、「離婚して親と別居」すると、男性のみ脳卒中の危険が高くなったそうです。

これまで離婚により循環器疾患の危険が増加することも報告されており、離婚は体によくはない影響を与えるようです。

世界のニュース

ピーナツの経口摂取で乳児 ピーナツアレルギー発症予防

ピーナツアレルギーの危険のある乳児に、ピーナツに含まれる成分を摂取させるとピーナツアレルギーの発症率が低下することが報告されています（危険を伴う為、専門医による診療が必要です）。その後1年間摂取をやめても、発症率は低いままであったということが追加報告されました。

現在アレルギーがある方も、一度アレルギーの専門家に相談してみてください。

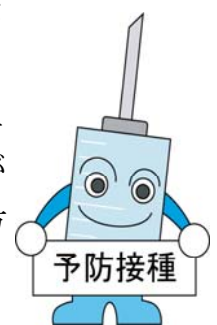
日本のニュース

水痘ワクチン「50歳以上の帯状 疱疹予防」に適応拡大

水痘ワクチンは小児の定期接種として使用されていますが、今回50歳以上の帯状疱疹予防に適応が認められました。

帯状疱疹は一度発症すると神経痛の後遺症が残ったり、顔面に出ると顔面神経麻痺を起こしたりすることが知られています。

ワクチンの使用によりこれらの予防に役立つことが期待されます。ご希望の方は一度ご相談ください。



医療法人 森田医院

所在地：大阪府寝屋川市本町24-14 電話：072-821-0446
ホームページ：<http://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9時-12時30分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時30分	○	○	○	-	○	-	-



受付は診察の30分前から行います。シャッターは診察の1時間前に開きますので、診察券をお持ちの方は診察券入れに入れていただきますと順番をとらせていただきます。